

南区区ビジョンまちづくり計画第1次実施計画の平成27年度進捗状況について

■第1次実施計画（H27年度～H28年度）について

- ・第1次実施計画は平成27・28年度の2年間で社会状況の急激な変化に対応しながら、区が重点的に取り組む事項を掲載しています。
- ・各取組の工程や数値目標を設定し、平成27年度の評価を行います。

■平成27年度取り組み実施状況

目指す区のすがた	まちづくりの方針	取り組み数	取り組み内容数	評価		
				達成	概ね達成	未達成
I ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち	1 安心して、快適に暮らすまちづくり	15	37	30	6	1
	2 誰もが健康でいきいきと生活できるまちづくり	17	40	31	8	1
	3 区民や地域が主役となるまちづくり	6	18	14	2	2
II 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまち	4 交通の利便性が高いまちづくり	6	13	11	0	2
III 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまち	5 活力のある魅力的な農業を活かしたまちづくり	14	25	17	7	1
	6 いきいきと働けるまちづくり	6	17	15	0	2
IV 大凧が舞い、獅子が跳ね、ルレクチエが実るまち	7 にぎわいと多彩な交流のまちづくり	5	8	6	1	1
	計	69	158	124	24	10
				79%	15%	6%

※取組数、取り組み内容数は重複を含む

基本方針に基づく各取り組みに対する評価は「達成」、「概ね達成」が94%であり、方針に基づくまちづくりを推進したと考えます。

■「概ね達成」、「未達成」のうち特に説明が必要な取り組み

I ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち

1 安心して、快適に暮らすまちづくり

(1) 減災に向けたまちづくり

事業番号	取り組み	取組み内容	現状		工程・数値目標		評価	課題	今後の方向性
			H26(2014)年度	H27(2015)年度	H27(2015)年度実績	H28(2016)年度			
1	ア 自主防災組織の育成・強化	自主防災訓練の実施	自主防災組織22組織 訓練実施組織22組織	区内すべての自主防災会で 防災訓練の実施	2組織を除き防災訓練を実施した。	検証・継続	概ね達成	・訓練日程の調整 ・あくまでも「自主」防災訓練のため、防災会の意向により実施が左右される。	引き続き全ての自主防災会で訓練を実施してもらえるよう働きかけ並びに訓練への支援を行う。
2	イ 防災意識の醸成	防災教室・防災キャンプの実施	防災教室 区内6中学校で実施	防災教室 区内6中学校で実施 防災キャンプ 小学校高学年対象 1回	・防災教室は区内1中学校(白根北中学校)で実施 ・防災キャンプは応募者少数のため中止し、代替として白根高校で防災ボランティア講座(基礎編)を実施。 ・市防災教育プログラムは区内3校(白根一中、白根小、小林小)で実施。	⇒	概ね達成	他事業(市防災教育プログラム)との連携及び調整	防災キャンプは実施せず、白根高校の防災ボランティア講座を継続し、災害時に機能することを目指す。また、中学校防災教室も市の防災教育プログラム(学校支援課所管)との連携も考慮し継続する。

(3) 都市基盤の強化による安心・安全なまちづくり

事業番号	取り組み	取組み内容	現状		工程・数値目標		評価	課題	今後の方向性
			H26(2014)年度	H27(2015)年度	H27(2015)年度実績	H28(2016)年度			
9	オ 浸水対策の推進	ポンプ場及び雨水幹線整備の推進	雨水施設整備の進捗率 35%	雨水施設整備の進捗率 61%	雨水施設整備の進捗率 57%	雨水施設整備の進捗率 78%	概ね達成	雨水施設整備の進捗率は、57%⇒目標達成率は93%	地元の皆様のご協力をいただき、工事は順調に進んでいる。今後も地元の皆様のご協力をいただきながら、工事の早期完了を目指す。

(4) 区民の生活を守る意識づくりと対策の強化

事業番号	取り組み	取組み内容	現状		工程・数値目標		評価	課題	今後の方向性
			H26(2014)年度	H27(2015)年度	H27(2015)年度実績	H28(2016)年度			
10	ア 交通安全対策の推進	交通安全指導員の育成	交通安全指導員研修 年10回 延べ50人参加	交通安全指導員研修 年10回 延べ60人参加	幼児・自転車・高齢者交通安全指導研修会回数:8回 参加延べ人数:55人	⇒	概ね達成	交通安全指導員との連絡調整等の徹底と前期からの取り組み	指導員の技術・知識向上のため、必要な研修を受講してもらいレベルアップを図る。
11	イ 防犯体制の強化と意識啓発の推進	関係機関・団体と連携した街頭啓発活動への取り組みと防犯ボランティアネットワークへの登録の推進	街頭啓発 年13回実施、 登録団体 3団体	街頭啓発 年13回以上実施 登録団体 7団体	街頭啓発実施回数:16回 広報活動実施回数:4回 団体登録の働きかけ:6団体 団体登録数:6団体	⇒	概ね達成	区内における防犯活動団体への防犯ボランティアネットワーク登録に関する周知及び働きかけ	全地区の防犯団体に計画期間内(H34年まで)に防犯ボランティアネットワーク登録を目指す。

(6) 快適な生活環境の形成と環境の保全

事業番号	取り組み	取組み内容	現状		工程・数値目標		評価	課題	今後の方向性
			H26(2014)年度	H27(2015)年度	H27(2015)年度実績	H28(2016)年度			
13	ア 家庭系ごみの減量	地域における啓発活動	1人1日あたりのごみ排出量 489g 地域会合やイベント等での啓発活動 13回	1人1日あたりのごみ排出量 483g 地域会合やイベント等での啓発活動 15回 生ごみ減量方法の検証	1人1日あたりのごみ排出量 483g 地域会合やイベント等での啓発活動 10回 生ごみ減量方法の検証	1人1日あたりのごみ排出量 477g 地域会合やイベント等での啓発活動 15回 生ごみ減量方法の啓発	概ね達成	地域会合やイベントでの啓発活動だけでなく、新たな取り組みも必要	ごみ減量の啓発活動も、地域会合やイベントでの説明だけでなく、更に工夫した啓発活動を加える。

I ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち

2 誰もが健康でいきいきと生活できるまちづくり

(2) 子どもを安心して産み育てられるまち

事業番号	取り組み	取組み内容	現状		工程・数値目標		評価	課題	今後の方向性
			H26(2014)年度	H27(2015)年度	H27(2015)年度実績	H28(2016)年度			
20	エ 子育て情報の発信	子育て支援リーダーなどが赤ちゃん宅を訪問し情報を伝える	子育て広場利用者への情報提供	訪問する体制づくりとアウトリーチ支援研修の実施	アウトリーチ支援研修を5回実施したが、訪問の体制づくりまではできなかった	赤ちゃん宅を訪問	概ね達成	訪問する体制づくりやスタッフの確保が必要	健診時や子育て広場の参加者に取組みのPRを行い、ニーズを探る。

(5)健康寿命の延伸

事業番号	取り組み	取組み内容	現状		工程・数値目標		評価	課題	今後の方向性
			H26(2014)年度	H27(2015)年度	H27(2015)年度実績	H28(2016)年度			
27	イ 疾病の早期発見、早期治療	健(検)診受診勧奨	特定健診受診率 H25年度 31.2% 2,583人受診	特定健診受診者32.0% 2,800人受診	各種健康相談・健康教育の場での健診受診呼びかけ 健診受診数:H27年度(3月末見込み)2,683人	特定健診受診者33.8% 3,000人受診	概ね達成	従来の取組では、受診率の大幅な改善は望めないため、コミ協など地域の協力をいただきながら、ミニドック型集団健診の実施など新しい取り組みが必要	健康づくりのPRや健診受診時の申込など、コミ協とも連携した新たな取組を行う

(6)高齢者が安心して暮らせるまち

事業番号	取り組み	取組み内容	現状		工程・数値目標		評価	課題	今後の方向性
			H26(2014)年度	H27(2015)年度	H27(2015)年度実績	H28(2016)年度			
29	ア 高齢者の介護予防と社会参加	地域の茶の間の情報発信及び活動内容の充実	南区内の地域の茶の間50ヶ所余り	地域福祉アクションプランの地区別計画に基づき、具体策を検討し実施	区に配属されたSCが39か所の茶の間を訪問し、状況把握や情報交換を実施	⇒	未達成	・茶の間利用者の固定化と減少 ・茶の間運営者の高齢化とボランティアの確保 ・茶の間実施内容のマンネリ化	社会福祉協議会の地区別座談会や、モデルハウスの設置にあわせて、地域の茶の間の課題等の話し合いを実施予定

I ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち

3 区民や地域が主役となるまちづくり

(1) 区民と行政の協働の推進

事業番号	取り組み	取組み内容	現状		工程・数値目標		評価	課題	今後の方向性
			H26(2014)年度	H27(2015)年度	H27(2015)年度実績	H28(2016)年度			
33	ア 地域コミュニティ活動の活性化	コミュニティ協議会等への支援	地域コミュニティ協議会、自治会、NPO等の事業を支援 78事業	地域コミュニティ協議会、自治会、NPO等の事業を支援 70事業	56事業	⇒	未達成	予算措置の継続と補助要件の拡大	地域活動の拡大協議
			地域コミュニティ協議会、自治会等の設備整備を支援 9事業	地域コミュニティ協議会、自治会等の設備整備を支援 5事業	4事業	⇒	未達成	予算措置の継続と補助要件の拡大	制度周知とPRの拡大
35	ウ 区政情報の発信・共有	区役所だよりや、区のホームページなどを活用した効果的な情報発信	区だよりや区のホームページを活用	他事業での実施済みアンケートの検証と区政情報の共有に関するアンケート実施の検討	編集方針の明確化 市政世論調査の結果等の内容を検証	区政情報の共有に関するアンケート実施の検討	概ね達成	区民の情報ニーズの把握に関する具体的な手法の検討が必要	区民の情報ニーズを正確に把握するため既存のアンケートなどを参考として手法を具体化していく。

II 誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまち

4 交通の利便性の高いまちづくり

(1) 便利で快適な公共交通体系の構築

事業番号	取り組み	取組み内容	現状		工程・数値目標		評価	課題	今後の方向性
			H26(2014)年度	H27(2015)年度	H27(2015)年度実績	H28(2016)年度			
39	ア 公共交通体系の構築	区バス等の新規路線やバス事業者への区間移管などの検討	区バス社会実験	まちなか循環バス社会実験 利用データの集積200件以上	無作為抽出者に対するアンケート 1,005件	⇒	未達成	利用者増加に向けたターゲットを絞った具体的な広報活動が必要	ルート設定・便数等アンケートを基に検証し、運行
40	イ 区内公共交通の利用環境整備と意識の向上	パークアンドライドの促進	平成25年度実績を検証	パークアンドライド社会実験 検討・調査	パークアンドライド実施事例調査・研究	パークアンドライド社会実験実施	未達成	他取組との優先順位を見極めが必要	南区の公共交通の方向性を検討しながら、パークアンドライドの参加意向を把握し事業化を検討

III 農商工の連携が、新たな活力を生み出すまち

5 活力のある魅力的な農業を活かしたまちづくり

(2) 資源循環、環境重視型の農業の推進

事業番号	取り組み	取組み内容	現状		工程・数値目標		評価	課題	今後の方向性
			H26(2014)年度	H27(2015)年度	H27(2015)年度実績	H28(2016)年度			
49	イ エコファーマーの育成	エコファーマーの育成 南区資源循環事業の連携	エコファーマー認定数 540件	エコファーマー認定数 550件以上	認定数:453件	⇒	未達成	事業の周知、啓発	事業の周知、啓発を行う。

6 いきいきと働けるまちづくり

(1)産業活性化による雇用創出

事業番号	取り組み	取組み内容	現状				評価	課題	今後の方向性
			H26(2014)年度	H27(2015)年度	H27(2015)年度実績	H28(2016)年度			
59	ア ニューフードバレー構想の推進と企業立地の促進	企業誘致につながるPR等を実施	企業立地意向調査の実施 南区企業立地ガイドの作成 ビジネスニュースの発刊1回	企業説明・農地巡りの参加企業数10社 ビジネスニュースの発刊4回	企業説明・農地巡りの参加企業数2社 ビジネスニュースの発刊4回	⇒	未達成	南区における現地視察見学会を開催したが、遠方からの来訪・参加を促すには財政面も含め難しい。	H28ビジネスプランコンテスト最優秀プラン・入賞プランの支援、【アイデア部門】の入賞プランの活用
62	エ 成長産業の育成支援	航空機部品の共同工場と南区内既存企業の連携		進出企業の白根北部団地企業会、白根経営振興協議会への加入 5社	入居状況等の情報収集	白根北部団地企業会、白根経営振興協議会における情報交換	未達成	参加企業の入居・稼働が途上状態（入居完了、稼働開始に併せ、組織加入の打診）	共同工場参加企業の情報収集、情報交換

IV 大風が舞い、獅子が跳ね、ルレクチエが実るまち

7 にぎわいと多彩な交流のまちづくり

(2)地域の宝のみがきと次世代への継承

事業番号	取り組み	取組み内容	現状				評価	課題	今後の方向性
			H26(2014)年度	H27(2015)年度	H27(2015)年度実績	H28(2016)年度			
69	イ 地域の宝ものの保全と活用	文化資源の知名度向上及び保全活用	笹川邸年間入館者数5,700人	笹川邸でのイベント開催 年間入館者数 9,000人	年間入館者数 6,944人	笹川邸でのイベント開催 年間入館者数6,000人	未達成	施設の管理運営の在り方	保存活用計画に基づく管理運営